

令和3年12月12日

高崎市教育委員会

## 柴崎浅間山古墳 現地説明会 資料

1 古墳の名称 柴崎浅間山古墳

2 所在地 高崎市柴崎町字蟹沢<sup>かにさわ</sup>586番地

3 調査の履歴等

①1926(大正15/昭和元)年、著名な考古学者の森本六爾<sup>もりもろくよ</sup>が高崎市を訪れ、柴崎蟹沢古墳の調査の際、柴崎浅間山古墳の簡易測量図を作成した。

○森本六爾「上野に於ける□始元年鏡出土古墳」『考古學研究』<sup>こうがくけんきゅう</sup>第2年第4號

(上記文献から柴崎浅間山古墳の記述を抜粋すると・・・( )内は市教委追記)

「(前略) 而して本古墳(蟹沢古墳)の略東方約百尺前後の所に一圓墳<sup>えんぼん</sup>があつて  
未だ封土<sup>いまふうど</sup>を失ふに至っていない。これは封土の高さ約13~14尺(3.9~4.2m)

前後もとは葺石<sup>ふきいし</sup>をもつていたらしい(後略)」

②『上毛古墳綜覧』<sup>じょうもうこふんそうらん</sup>(昭和10年)では「群馬郡大類村17号墳」<sup>ぐんまぐんおおいむら</sup>として登録。

③今回高崎市が行った発掘調査の結果

○古墳の規模 1辺約25mの方墳、高さは4.2m

築造当時の姿をよくとどめている。

○古墳の周りに堀がめぐる(幅など詳細は不明)。葺石はない。

○埋葬施設 墓壙<sup>ぼこう</sup>は未確認(盛土下に残存の可能性あり)。

遺体を埋葬した「粘土槨」<sup>ねんどかく</sup>が残り、副葬品が発見される可能性がある。

○築造年代 古墳前期 4世紀(周堀内出土の土器片の年代から)

○近接する古墳での墳形、規模や副葬品の差異は、今後の研究課題。

- ・柴崎蟹沢古墳(直径12m?、円墳)
- ・柴崎浅間山古墳(一辺約25m、方墳)

柴崎浅间山古墳 墳丘現況測量図

